

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 1 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災や地震、水害等の災害時における、避難訓練や消防訓練を消防署指導のもとに行っているが(夜間を想定した訓練)日中、職員揃っている時の訓練の為、災害時に役立つかどうか不安である。	火災や地震、水害時に昼夜を問わず、利用者が非難できる方法を全職員が身につけると共に、訓練及び実施頻度を増やす。ニュースの報道を受信した時、随時に職員と話し合う。	大阪市災害時要援護者名簿作成(地域自治会・地域包括センターに提出)避難場所(淀中学校・フェリス大和田老健・大阪市市営住宅3階)訓練を職員、運営推進会議のメンバー、地域の人たちとの協力体制を強化し築いていく。	12ヶ月
2	4(3)	運営推進会議を2ヶ月に1回開催。地域包括センター・自治会・老人会・福祉児童委員、他の福祉施設が参加しやすいように開催時間を考慮(午後6時～)参加者の中に家族代表、民生委員が含まれていない。	運営推進会議では、当ホームの現状を報告し評価への取り組み状況等意見交換の場であるが肝心の家族の参加に結びついていない。	家族への参加を根気よく行う。毎回の議事録を家族に直接お送りする。可能な限り出席を促す等の努力をする。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。